

## ・蓄光とは

基本的な原理は蛍光と同様で、太陽光などの自然光や、照明などの人工光などから光エネルギーを吸収して励起状態となり、基底状態に戻る際に光を発生します。蛍光と違う点は、蓄えたエネルギーを瞬間的ではなく、徐々に光として放出するところです。蛍光は一瞬にして光を発するため可視光線の反射が相まって鮮やかに見えますが、蓄光は徐々に光を発生するため、発光自体は蛍光と比較して弱いです。そのため、光に照らされている時は発光を感じることは殆どありませんが、突然辺りが暗くなると効果を発揮します。基本的に照らすエネルギー（照度）が高いほど短時間で励起して、輝度が高くなります。

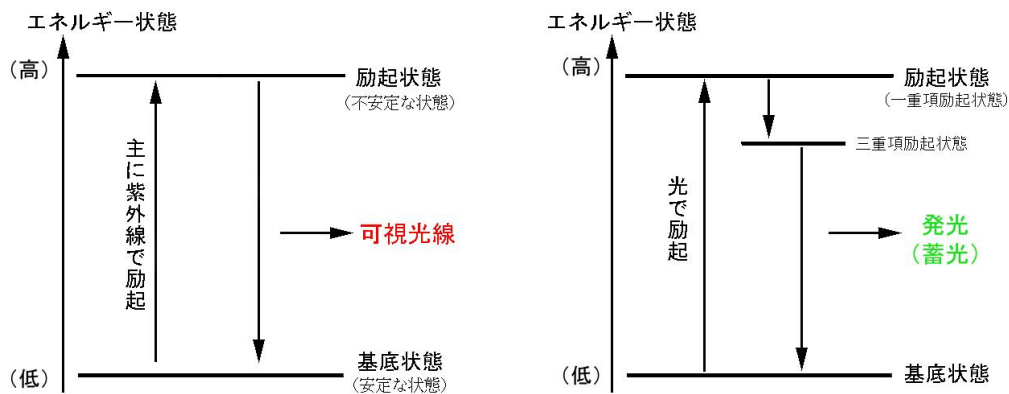


図 蓄光発生のエネルギー状態変化イメージ(右図)と蛍光(左図)の場合との比較